

「日本紅斑熱」に注意！

日本紅斑熱は *Rickettsia japonica* を保有するマダニに刺咬されて感染する4類感染症です。和歌山市においても、例年マダニの活動期に一致した4～11月に届出が多くなっています。

今年は10月に入り、届出を4件受理し、重症例も含まれているため、今後の動向を注視しています。

	2024年	2023年	2022年
総件数	5件	8件	6件
4-6月	1件	3件	3件
7-9月	0件	2件	1件
10-11月	4件（10/25時点）	3件	2件

〈日本紅斑熱〉

◎潜伏期間：2～8日

◎臨床症状：「発熱」「発疹」「刺し口」が三徴候

発疹は、辺縁が不整形の紅斑、顔面や手掌・足底を含む四肢末端部優位

刺し口は、やや小さく、発見率は60～70%程度

（腋窩、膝窩、臍、陰部、頭部、腕時計の下、下着の当たる部分など見つけづらい場所にあることも多い。）

その他の症状は、倦怠感、頭痛、筋肉痛、関節痛など

◎検査所見：CRP 上昇、肝機能異常、血小板減少、白血球減少など

確定診断は、血液・痂皮組織を用いた PCR による病原体診断や抗体検査を行います。が、いずれも保険適応がなく、行政検査で実施します。

そのため、日本紅斑熱を疑う患者を診察した場合には、屋外での活動歴等を聴取いただくとともに、迅速な治療につながるよう、情報提供いただきますようお願いいたします。

〈行政検査で確保していただきたい検体〉

①刺し口 痂皮（滅菌スピッツ）

②血液（EDTA加血 2cc 程度）

また、屋外での活動の注意点などの啓発についても併せてお願いいたします。

■厚生労働省ホームページ（ダニ媒介感染症）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>